



ひたちなか治水だより

令和6年7月 第40号

ひたちなか市では水害から市民の生命・財産を守るため様々な治水対策を推進しています。国・県・市を問わず市内で行われている治水対策についてご紹介していきます。

発行：ひたちなか市建設部河川課
那珂川緊急治水対策推進室

「令和6年度 那珂川水系一斉クリーン作戦」を実施しました【国・ひたちなか市】

令和6年7月7日（日）に令和6年度那珂川水系一斉クリーン作戦を無事実施することができました。国土交通省では、国民の河川愛護意識を高めることを目的として、毎年7月を「河川愛護月間」と定め、河川愛護運動を実施しています。「河川愛護月間」の主な活動として行っています「河川周辺の清掃活動」の一環として、毎年、「那珂川水系一斉クリーン作戦」を実施しています。

今年も休日の貴重なお時間をいただき、多数の皆さま、関係団体の皆さまにご参加いただき、市内8箇所の河川敷等において、ひたちなか市コミュニティ組織連絡協議会市民憲章実践部会の主催による「那珂川水系一斉クリーン作戦」を実施しました。地元自治会やコミュニティ組織連絡協議会、地元企業や団体の皆さまなど、23団体 588人のご参加を頂きました。おかげ様をもちまして、350キロのごみを回収することができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

那珂川水系一斉クリーン作戦は国土交通省常陸河川国道事務所の協力のもと、住民や事業者など地域の方々からの手で清掃活動を行うことで、川に親しみを感じていただくことを目的として実施しています。「みんなの力で川をキレイに！」を合言葉に、きれいな河川環境を維持するためにも、引き続き河川愛護運動にご協力をお願いします。

【参加団体】一中地区地域のふれあいを広める会、二中学区地域の輪をつくる会、前渡を明るく住みよくする会、佐野の和を推進する会、大島コミセン地区地域づくりの会、田彦中学区地域づくりの会、枝川自治会、勝倉自治会、三反田自治会、関戸町自治会、柳が丘自治会、柳沢美田多自治会、部田野小谷金自治会、小川自治会、田中町自治会、龍之口町自治会、日本郵便株式会社ひたちなか郵便局、新井土木株式会社、松崎建設株式会社、ひたちなか市勝田金融団、ひたちなか市建設業協同組合、株式会社日立製作所水戸事業所、株式会社北越エンジニアリング勝田事業所、那珂湊高等学校力又一部、ひたちなか市役所建設部職員（順不動）

【ごみ回収量】燃えるごみ：150キロ + 燃えないごみ：200キロ = 合計で350キログラムのごみが回収されました。

【実施箇所】那珂川4か所（枝川地内・勝倉地内・三反田地内・栄町及び海門町地内）、中丸川2か所（中根地内・関戸町地内）、大川（中根地内）、本郷川（馬渡地内）



上段の左の2枚の写真は、枝川本部の様子、順に、大谷市長の挨拶、佐近事務所長の挨拶。
←那珂川水系一斉クリーン作戦の様子です。朝早くから、暑い中、ご参加いただきありがとうございます。上段左写真は、勝倉地区、順に三反田地区、栄町地区の様子、下段左写真は、中丸川の中根地内、順に中丸川の関戸町地内、大川の中根地内、本郷川の馬渡地内、那珂川の枝川地内の作業状況の様子です。



30th Anniversary

ひとが咲くまち。ひたちなか

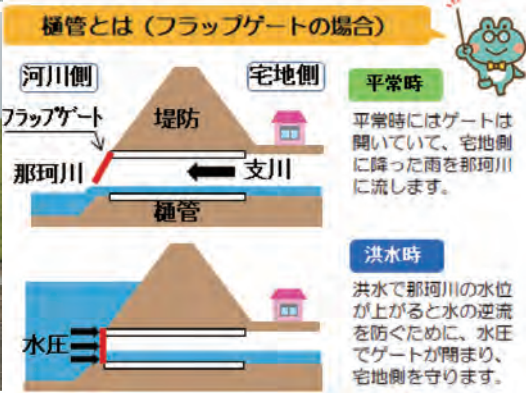
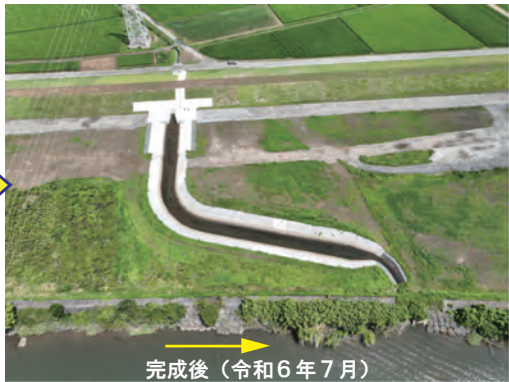
那珂川緊急治水対策プロジェクトの工事をお知らせします。【国】



令和6年7月に入り、那珂川緊急治水対策プロジェクトの堤防整備として、R4 那珂川左岸小場江排水樋管改築工事が完成しました。この工事は、小場江排水樋管の周辺の各排水路を堤防整備に伴い統合しました。今回の那珂川緊急治水対策プロジェクトにおいて、樋管工事を2箇所予定し、この小場江排水樋管の完成で樋管工事は終わり、着実に一つ一つ完成しています。今後も引き続き完成を目指して整備を行っていきます。

工事名：R4 那珂川左岸小場江排水樋管改築工事
 工事延長：L= 約420m
 受注者：大日本土木株式会社

工事完成にあたり、国（常陸河川国道事務所、水戸出張所）から引渡しを受けるため、小場江排水樋管の操作説明を受けました。今後も国と連携しながら堤防整備を行いますので、地元住民の皆さまには、ご不便をおかけしますが、安全管理を徹底し、工事の早期完成を目指してまいりますので、ご理解とご協力をお願いします。



▲上の写真は、左から順にフラップゲートの説明、スライドゲートの説明、スライドゲートの動作確認、スライドゲートの操作説明の様子。

大島第1幹線管きょ布設工事が順調に進んでいます！【ひたちなか市】

令和6年度当初から現場が動きだした大島第1幹線工事の進捗をお知らせします。大島第1幹線の整備は、JR常磐線の西側の地区へ繋がる雨水幹線を計画的に進めております。この工事については、JR常磐線の横断があり、とても難しい工事であります。そのため、並行してJR東日本水戸支社と協議、調整を行いながら計画を進めています。近隣の皆さまのご理解とご協力をいただきながら今後も整備を進めていきます。

現在の大島第1幹線管きょ布設工事は、推進工法による管きょ布設を行っております。令和6年7月18日時点で管きょ布設延長は、約60mに達し、管きょの推進が順調に進んでいます。

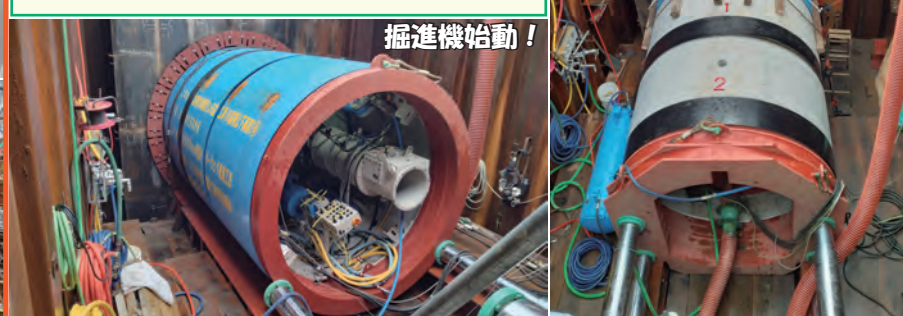


大島第1幹線管きょ布設工事の管きょ布設までの流れ

掘削機（推進機）の発注
↓
工場製作
↓
工場検査（令和6年6月6日）
↓
現場搬入（令和6年6月27日）
↓
掘進開始（令和6年7月1日）
↓
現在に至る（令和6年7月18日）
約60M
順調に進んでいます！

復習！【推進工法とは】
推進管（主に鉄筋コンクリート管）の先端に掘進機を取り付け、地中を掘削しつつ、後方の油圧ジャッキで文字通り推し進めて、管を埋設する工法です。

推進始動→掘進機挿入
→一番管二番管挿入！



30th Anniversary
ひとが咲くまち。ひたちなか

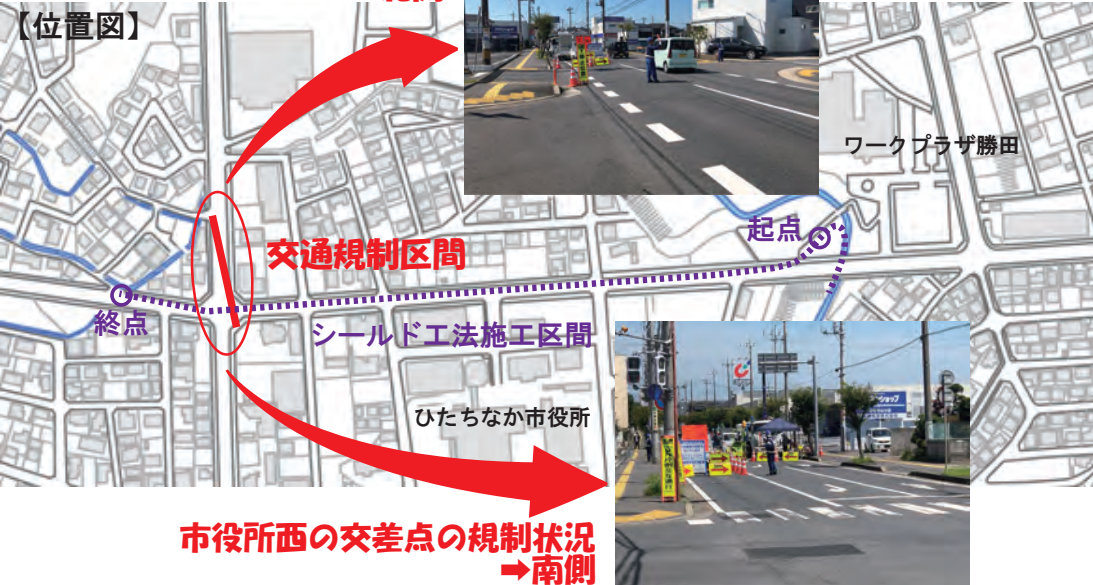
大島第2幹線管きよ布設工事の準備を進めています！【ひたちなか市】

工事の準備を進めながら、大島第2幹線管きよ布設工事が、令和6年7月18日ごろから、現場が動き始めました。この雨水幹線はひたちなか市の市街地の幹となる大口径の雨水幹線です。現在工事は、その支障となる埋設管の移設を行っています。本体工事（シールド工法）は、24時間の施工となる長期間の工事であり、令和7年度末までかかる予定です。この工事は、JR常磐線の西側の田彦地区に繋がる幹線の整備であり、管径φ3250管きよを布設していきます。周辺の市民の皆さまには、大変ご迷惑をおかけいたしますが、市民の皆さまのご理解とご協力により、1日も早い完成を目指していきます。また、工事に伴い、市役所西交差点周辺から北側に交通規制を行います。工種により、規制が変わり、ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。



市役所西の交差点の規制状況 →北側

【位置図】



▲上の写真は、樹木伐採の安全祈願の様子、順に、伐採の施工について現場説明の様子。

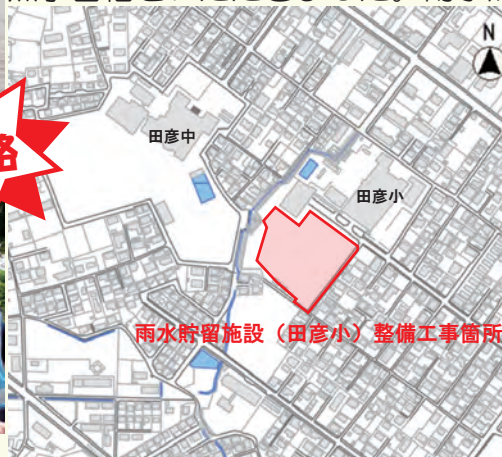
▲上段写真は、シールド工法による管きよを布設するライン上のボーリング調査、順に、地盤改良工の材料検査、下段は、地盤改良工実施の動作確認の様子。

雨水貯留施設（田彦小）整備工事が完成しました。【ひたちなか市】



▲完了検査説明→現場説明→品質検査（高さ測定）→検査終了と講評

昨年の秋頃から始まりました雨水貯留施設（田彦小）整備工事が、無事に令和6年6月30日に竣工し、次の週に工事検査室の検査を7月2日（火）に受検し、無事合格をいただきました。雨水貯留施設（田彦小）



整備工事が令和元年度末から始まり、約5年弱がかかり、無事に工事を終わることができました。工事に関して、田彦小学校の皆さまのご理解とご協力のもと、無事に完成しました。ありがとうございました。



30th Anniversary

ひとが咲くまち。ひたちなか

新宮田橋付帯工事が順調に進んでいます。【ひたちなか市】

新宮田橋付帯工事を現在行っています。耕作者の皆さま、近隣の市民の皆さまにご協力とご理解をいただき、現時点では順調に工事が進んでいます。今後も継続して、安全を確保し、完成に向けて施工を行います。皆さまが早く「新宮田橋」を渡れるよう工事を進め、完成を目指します。現在の施工状況は、新宮田橋の橋台と市道を取付けるため、H鋼杭と土留工から構成される親杭横矢板工法を採用し、現在、H鋼杭を打設しています（令和6年7月時点）。「新宮田橋」は、現況の地盤より高いために、橋台に摺り付けるために土留等を行い橋台と現道を接続し、安全に通行できるように現在施工しています。

▼H鋼の打設状況、大川橋から撮影、中央は対岸（左岸）から撮影

▶概略平面図



令和6年度那珂川改修期成同盟会定期総会が開催されました。【那珂川改修期成同盟会】

令和6年7月4日（木）に令和6年度的那珂川改修期成同盟会定期総会が行われました。令和6年度は、ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸が会場になりました。今年度も、多くの顧問（国会議員，県議会議員），の方々の出席もありました。本市から、大谷市長と薄井市議会議長が出席され、昨年度の事業報告等や、令和7年度的那珂川改修期成同盟会の要望（案）について審議されました。また、令和7年度の中央要望について、各市・町長により要望内容の説明があり、確認しました。また、新たに発足しました「関東治水期成同盟会連合会」について、説明があり、今後、関東全体で河川事業に対し働きかけていきます。最後に那珂川の河川管理者である常陸河川国道事務所から、事務所の事業概要の説明や、河川事業の進捗状況、今後の予定について説明を受けました。



◀上段の写真は、左から水戸市の高橋市長（那珂川改修期成同盟会会長）の挨拶、大谷市長，薄井市議会議長，右写真は、奥から常陸河川国道事務所（伊藤副所長，三好副所長・那珂川緊急治水対策推進室室長，佐近事務所長），茨城県土木部（林土木部長，矢内災害・防災対策監兼河川課長）が出席されました。下段の左の写真は、総会の会場と総会の状況です。多くの出席者が来場されました。中央の写真は、出席者の質疑応答に対応されている佐近事務所長です。

30th

30th Anniversary

ひとが咲くまち。ひたちなか

令和6年度土砂災害出前講座を行いました。【茨城県・ひたちなか市】

令和6年度の土砂災害出前講座を茨城県土木部河川課砂防担当を招き開催しました。新たな年度になり、土砂災害パトロール員も変わり、災害関係課等の職員も含め、土砂災害について学びました。前々回、前回とひたちなか治水だよりでもお知らせしましたが、6月は土砂災害防止月間でもあり、最近の降雨状況から、「土砂災害警戒情報」が発表される場合が増えています。災害情報等を受信いただき、気象庁、茨城県、市等から発表する避難指示などの情報収集を心がけ、少しでも安全な場所へ速やかな避難をお願いします。

いばらき
土砂災害出前講座
をやりま〜す！

令和6年6月28日(金) 18:00〜 茨城ひばり
どなたでも参加をしております。

詳しくはHPをご覧ください！
↓ URL ↓
<https://www.pref.ibaraki.jp/doboku/kasen/sabo/demaie.html>

問い合わせ先
茨城県土木部河川課水防課・砂防対策室 砂防担当
TEL: 029-304-4480 FAX: 029-301-4499
メール: kasen7@pref.ibaraki.lg.jp
住所: 〒310-8555 水戸市笠原町976番6

▲出前講座ポスター



① 土砂災害警戒情報について

警戒種別	状況	住民者の行動の例	緊急安全確保
災害切迫	高に危険な土砂災害発生が予想され、土砂災害防止法に基づき、土砂災害警戒区域等において、土砂災害警戒情報が発令された場合	（任意）避難所等へ避難する （任意）土砂災害警戒区域等から避難する	5 相続
危険	土砂災害警戒区域等において、土砂災害警戒情報が発令された場合	（任意）土砂災害警戒区域等から避難する	4 相続
警戒	土砂災害警戒区域等において、土砂災害警戒情報が発令された場合	（任意）土砂災害警戒区域等から避難する	3 相続
注意	土砂災害警戒区域等において、土砂災害警戒情報が発令された場合	（任意）土砂災害警戒区域等から避難する	2 相続

▲左は、講座資料（土砂災害警戒情報）、左上段の写真は、①は、建設部長の挨拶、②は、茨城県土木部河川課水防・砂防対策室による出前講座状況、③は、都市整備部長の質疑状況です。

【お知らせ】7月は、「河川愛護月間」です。少し河川を意識してみませんか！

河川愛護月間が始まります！

～7月は河川愛護月間（7月1日～7月31日）です～

国土交通省では、国民の河川愛護意識を高めることを目的として、毎年7月を「河川愛護月間」と定め、河川愛護運動を実施しています。

「河川愛護月間」での主な活動）

- 河川周辺の清掃活動
良好な河川環境を保全・再生するため、地域住民、市民団体等が主体となって、河川周辺の清掃活動を行います。
- 各種行事の開催
河川に関する写真、絵画、作文のコンクールや、「水辺で乾杯」など様々なイベントを開催します。
- 河川のパトロール
河川利用者に対し河川の適切な利用に関する指導を行うため、関係行政機関が共同して河川のパトロールを実施します。
- 河川水難事故防止週間
7月1日から7日までを「河川水難事故防止週間」と定め、水難事故防止に関する啓発活動を行います。

7/7は川の日です

せせらぎに ぼくも魚も すきとおる

河川愛護月間
7月1日～7月31日

「絵手紙」募集中！
7月1日～7月7日 河川水難事故防止週間

▲ポスター

令和6年度
海岸愛護月間
2024.7.1(月)～7.31(木)

河川愛護月間
7月1日～7月31日 水5000

▲ポスターの掲示（河川課）



▲河川愛護月間の懸垂幕（横断幕）庁内掲示

ひたちなか市建設部河川課
那珂川緊急治水対策推進室
〒312-8501

ひたちなか市東石川2丁目10番1号
TEL 029-273-0111（内線6418）

「ひたちなか治水だより」は不定期更新でひたちなか市の治水についてお知らせします。

ひたちなか市河川課のホームページでも治水に関する情報を公開しています。
アクセスはこちら→



30th Anniversary

ひとが咲くまち。ひたちなか